

# 海洋生物を究める!

—JAMBIO 沿岸生物合同調査の紹介—

海洋生物の多様性は豊に満ちており、海には人類がまだ出会ったことのない未知の種がたくさん存在します。私たちは、調査が進んでいない日本の沿岸域に生息する体の小さな生物の探検を目的とし、全国から研究者を集めて2014年から計23回のJAMBIO 沿岸生物合同調査を行いました。京都大学白浜水族館の母体である京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所です。これまでに2回の調査を実施しています。しかし、新型コロナウイルス感染症の流行があるままならぬなか、2019年12月以降、追加の調査がなかなか実施できない状況です。

私たちはこの逆境に屈するのではなく、調査ができないこと空いた時間をこれまでの成果をまとめて皆さまへ発信する好機と捉えることにしました。この企画展を通して、普段は目にする事のない珍しい生物の標本や写真に触れていただき、海の生き物への興味を深めていただくと幸いです。

- 製作  
 中野由起 (京都大学下田臨海実験センター)  
 幸野久美 (京都大学大学院理学系研究科環境地球学専攻)  
 竹内雄一 (京都科学技術大学院大学)  
 藤田由希 (京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所)  
 山崎純 (京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所)  
 加藤直隆 (京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所)  
 下村直隆 (京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所)  
 中野純之 (京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所)

共催 JAMBIO 沿岸生物合同調査 (JAMBIO) 京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所

## JAMBIO マリンバイオ共同推進機構

JAMBIO (ジャंबイオ) Japanese Association for Marine Biology) は、2009年に京都大学下田臨海実験センターと東京大学理学部環境生命科学専攻海洋生物学センターの連携が基盤として発足し、海洋生物学に関する国内外の研究者の交流と連携の促進、全国の臨海実験施設の連携を軸に活動してきました。2016年4月からは、生物多様性推進戦略の一環として発足しました。2016年3月までの活動を「過去と未来」をテーマに、この冊子で紹介します。また、オーストラリアなどの国際機関と連携し、World Association of Marine Biologists (WAMBI) のメンバーとして国際機関と連携してきました。JAMBIO 加盟大学として、私海実験施設の案内および国際機関と連携することを目的として、JAMBIO 加盟大学ネットワークグループによる2回分の国際共同調査を実施し、2018年6月からは、国際共同調査の開催時期をメンバーとして取り決め、JAMBIO 加盟大学ネットワークグループとして活動しています。

京都大学フィールド科学教育研究センター  
 東京大学理学部環境生命科学専攻海洋生物学センター  
 京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所  
 京都大学理学部環境生命科学専攻海洋生物学センター

## JAMBIO 沿岸生物合同調査

調査の目的  
 調査の経緯  
 調査の成果  
 今後の展望

JAMBIOの歩み

JAMBIOの歩み





ウデナガヒトデ  
*Dactolasterias stichantha* (Sladen, 1889)  
棘皮動物門・ヒトデ綱・マヒトデ科



トリノアシ  
*Metacrinus rotundus* P. H. Carpenter, 1885  
棘皮動物門・ウミユリ綱・ゴカクウミユリ科



イボサキワレテツル  
*Astroclon suensoni* Morten  
棘皮動物門・クモヒトデ綱・テツル



オヨギゴカイ属の1種  
*Tomopteris* sp.  
環形動物門・多毛綱・オヨギゴカイ科



イバライソメ  
*Octopus tenuicirrus* Sasaki, 1929  
環形動物門・多毛綱・オナテイソメ科



サガミモ  
*Pugettia quadridens* (Mason)  
節足動物門・軟甲綱



シモダヨロイハボウキ  
*Trophoniella hephaistos*  
Jimi & Fujiwara, 2016  
環形動物門・多毛綱・ハボウキゴカイ科



生物合同調査

JAMBOの参加施設 滋賀県環境研究所 大津支隊

JAMBOは、滋賀県環境研究所 大津支隊と連携し、大津市周辺の水生生物の調査を実施しています。調査対象は、琵琶湖の水生生物、大津川の水生生物、大津湖の水生生物です。調査結果は、環境改善に活用されています。



JAMBO沿岸生物合同調査で採集された動物

**JAMBIO**  
近年 JAMBIO 調査参加者が発表した新種

<p><b>刺胞動物門 イソギンチャク目</b></p>  <p>イソギンチャクは、刺胞動物門イソギンチャク目に属する。...</p>	<p><b>扁形動物門 多岐腸目</b></p>  <p>多岐腸目は、扁形動物門に属する。...</p>
<p><b>紐形動物門 ヒモムシ類</b></p>  <p>ヒモムシ類は、紐形動物門に属する。...</p>	<p><b>環形動物門 ゴカイ類</b></p>  <p>ゴカイ類は、環形動物門に属する。...</p>

**JAMBIO**  
近年 JAMBIO 調査参加者が発表した新種

<p><b>軟体動物門 尾蛭類</b></p>  <p>尾蛭類は、軟体動物門に属する。...</p>	<p><b>節足動物門 カイアシ類</b></p>  <p>カイアシ類は、節足動物門に属する。...</p>
<p><b>節足動物門 タイヌ目</b></p>  <p>タイヌ目は、節足動物門に属する。...</p>	<p><b>節足動物門 ヨコエビ類</b></p>  <p>ヨコエビ類は、節足動物門に属する。...</p>

**JAMBIO**  
近年 JAMBIO 調査参加者が発表した新種

<p><b>軟体動物門</b></p>  <p>軟体動物門に属する。...</p>	<p><b>節足動物門</b></p>  <p>節足動物門に属する。...</p>
<p><b>節足動物門</b></p>  <p>節足動物門に属する。...</p>	<p><b>節足動物門</b></p>  <p>節足動物門に属する。...</p>

**JAMBIO**  
近年 JAMBIO 調査参加者が発表した新種

<p><b>節足動物門</b></p>  <p>節足動物門に属する。...</p>	<p><b>節足動物門</b></p>  <p>節足動物門に属する。...</p>
---	--

**JAMBIO**  
近年 JAMBIO 調査参加者が発表した新種

<p><b>節足動物門</b></p>  <p>節足動物門に属する。...</p>	<p><b>節足動物門</b></p>  <p>節足動物門に属する。...</p>
---	--

**JAMBIO**  
近年 JAMBIO 調査参加者が発表した新種

<p><b>節足動物門</b></p>  <p>節足動物門に属する。...</p>	<p><b>節足動物門</b></p>  <p>節足動物門に属する。...</p>
---	--

**JAMBIO**  
近年 JAMBIO 調査参加者が発表した新種

<p><b>節足動物門</b></p>  <p>節足動物門に属する。...</p>	<p><b>節足動物門</b></p>  <p>節足動物門に属する。...</p>
---	--